

令和4年度甲佐町「人権週間」

人権に関する理解をさらに深めよう

12月4日(日)～10日(土)、令和4年度甲佐町「人権週間」が実施されました。期間中は第40回甲佐町「人権週間」町民集会の開催や人権(法律)相談の開設、街頭での人権啓発の広報活動など、人権に関するさまざまな活動が行われました。



1_人権啓発のパレードを行う参加者 2_町内の児童が手掛けた人権作品の展示 3_ハンセン病の歴史と患者人権について講演する箕田さん 4_町民集会で決議文を朗読する向山さん

●本町の人権に関する意識の高揚と啓発を図る取り組み

12月4日(日)から10日(土)にかけて、令和4年度甲佐町「人権週間」が実施されました。

同週間は、同実行委員会(沼田峰子委員長)、町、町教育委員会が共催。同問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決や、憲法で保障する基本的な人権の尊重、町民の人権意識の高揚を図ることを目的に、毎年実施しています。

期間中は、町民集会の開催や町民センターでの人権(法律)相談の開設、街頭での人権啓発の広報活動、町内企業などを訪問しての職場での人権啓発の呼び掛けなど、人権に関するさまざまな活動を展開。また、町生涯学習センターでは、町内の児童・生徒が手掛けた書道や標語といった人権作品の展示も行われました。

●町民参加による啓発活動で深める人権への理解

人権週間の一環として、12月10日(土)町生涯学習センターで、第40回甲佐町「人権週間」町民集会が開催されました。区長や民生委員など約70人が参加し、人権に関する理解を深めました。

同集会では、国立療養所菊池恵楓園園長の箕田誠司さんが「ハンセン病の歴史と患者人権」という演題で講演。国のハンセン病政策の変遷や菊池恵楓園の歴史と課題について説明しました。

最後に、町職員の向山裕太主事が決議文を朗読し、同集会決議を全会一致で採択。終了後は、市街地をパレードして人権啓発を呼び掛けました。

▼お問い合わせ先

町民センター

096・234・2459



▲天草産鯛のあら煮が付いたやな場御膳（竹）

夏とは違った冬のやな場を体験しませんか？

「甲佐町やな場」が初の冬季営業をスタート



▲やな場御膳（築）の熊本産あか牛の牛カツ

■12月1日から冬季営業中

夏とは違った冬の「甲佐町やな場」を体験しませんか。あつたかい御膳で皆さまの越しをお待ちしています。

▼冬季昼メニュー

・やな場御膳（竹）2400円
小鉢八種、お刺身、汁物、白飯、季節の天ぷらまたは天草産鯛のあら煮
・やな場御膳（築）2600円
本日の小鉢八種、お刺身、汁物、白飯、国産牛のハンバーグまたは熊本産あか牛の牛カツ



▲やな場御膳（竹）の季節の天ぷら

※お子様セットや山都産の猪肉を使った鍋（夜限定）もあります。

▼営業時間

・昼営業
午前11時30分～午後4時
・夜営業（完全予約制）
午後5時～午後9時

▼定休日

火曜日、水曜日

詳細は町公式ウェブサイトを
ご覧になるか甲佐町やな場
までお尋ねください。

▼お問い合わせ先

甲佐町やな場

☎096・234・0125